教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
数学	数学演習Ⅱ・B	3	2	選択

到達目標	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bで履修した内容を、演習を通してより確実に理解習得し、将来の進路に向けての十分な数学的な基礎知識をつける。また、数学の見方や考え方のよさを認識し、より幅広い視野で社会生活が送れる能力を身につける。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	第8章 式と証明	≪1学期≫ ・各タイプの例題を必ず予習する ・各タイプ毎に最も基本的な問題を1題選び、演習・解説する。 ・基礎を固める。 ・確実性とスピードを伴った計算能力を身につける。	
	第9章 複素数と方程式		
1学期期末	第10章 図形と方程式	・問題を解く際にはグラフや図形を書くことによって、イメージをつかむことが大切であることを理解し、実行できるようにする。	
	第11章 三角関数		
2学期中間	第12章 指数関数と対数関数	≪2学期≫ ・やや発展的な問題の演習をすることにより、実際に入試問題を解ける実力をつける。 ・1学期に学習した基本の組み合わせに過ぎないことを理解する。	
	第13章 微分法と積分法		
2学期期末	第14章 ベクトル	・基本さえマスターすれば、後は気合いと反復練習のみであり、実際に問題を解ける楽しみを味わうことで、積極的に問題演習に取り組む。	
	第15章 数列		
学年末	入試問題演習 文系希望の生徒の受験する大学・専門学校の過去の入試問題の演習	・上記と同様であるが、自信をもって問題に取り組むことができるようにする。	

評価方法と評価のポイント	評価は「関心・意欲・態度・努力」「数学的な見方考え方」「表現力」「知識・理解度」の4つの観点に基づいて、平素の学習意欲・態度、出席状況、ノート点検、定期考査等によって行う。定期考査は年に4回実施する。
---------------------	--

教科からのアドバイス

間違えた問題等は何度もやり直し、1度出会った問題は、2回目以降は必ず解けるようにすることがポイントです。